

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
<http://clanago.com>
プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行
株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: <http://www.mane-pro.com>

スザンナ役の伊藤舞子

伯爵夫人役の金澤澄華



斬新演出に発奮したキャスト陣

愛知県芸術劇場開館30周年を記念し、名古屋二期会がモーツァルトの傑作オペラ「フィガロの結婚」(10月15、16日・同大ホール)を上演。音楽監督・指揮は関西で活躍中の牧村邦彦、演出は俳優座演出部に所属する高岸未朝。出演はダブルキャストで、私が見たのは伯爵を迎撃する夫人を金澤澄華、スザンナを伊藤舞子、フィガロを大谷圭介が演じた16日の舞台。

舞台批評

名古屋二期会「フィガロの結婚」

序曲の途中に幕が上がると、舞台上には伯爵家に仕える使用人たちが、うやうやいな時間らしい。彼らは柵で囲まれた敷地の中で、まるで飼犬のように首輪を着けられていた。斬新で衝撃的な「フィガロ」である。公演前の会見で、演出の高岸は「支配する者として、される者の対比、そして身分制度が取り扱われる時代の到来を予感させた」と、演劇人ならではのプランを語った。驚いたのは伯爵夫人にも首輪が着けられていたことだ。

高岸の「奇策」にキャスト陣のテンションも上がった。特に素晴らしかったのは伯爵夫人役・

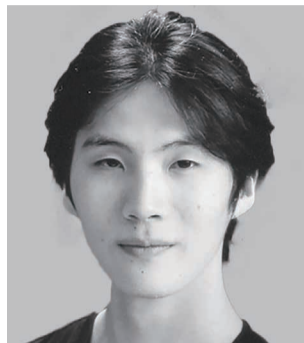
レオタードのご購入 送料 無料
1枚からでも大丈夫
Dan skate
住所 平島6008 愛知県名古屋市中区栄3丁目1-23
TEL 052-265-7900
<https://danskate.com>

金澤の情感あふれるアリアと、スザンナ役・伊藤の躍動感あふれる立ち居振る舞い。金澤の名唱は、長く二期会のプリマドンナとして愛された山口雅子を訪仏(ほうふつ)とさせた。伊藤はなんと今回がオペラデビューと今か。今後は楽しみなソリストである。残念だったのは、伯爵とフィガロを演じたダブルキャスト4人が、いざれも客演だったこと。彼らのおかげで優れた舞台になったのは確かだが、やはり残念ながら、二期会男性陣の今後の発奮を望みたい。(茂)

ミュージカル感覚で見る「白鳥」



山本恵里菜



長谷川元志

BALLET・NEXT ~ Swan Lake ~

1月22日 刈谷市総合文化センター大ホールで
オーディションシステムでセレクトされたバレエダンサーが、芸術監督・市川透の演出振付作品を上演するBALLET・NEXT。今年度は来月1月22日(午後4時)刈谷市総合文化センター大ホールで「Swan Lake」を披露する。クラシックバレエの代表作「白鳥の湖」の音楽



寺井 七海



梶田 真嗣



岩瀬 琴美



華愛 ミノリ

5月の「シャンソン・ピュレールコンクール中部大会」で、シャンソンの

10年ぶり、経験重ねエルムに復帰

シャンソンの扉

10年ぶりに、経験重ねエルムに復帰

ネッサンス賞を受賞した華愛ミノリ。元々はエルム・シスターズとして歌っていた実力派。2008年にフランスに赴いた際は、ジャクリヌ・ダンノらが立つ「トリ・アン・劇場」で歌声を響か

情念のドラマを繰り広げる。寺井はワガノワバレエアカデミー卒業後、ベリリン国立バレエ団で活躍した国際的プリマ。岩瀬はフレッシユなダンスとチャーミングなキャラクターで頭角を現した新鋭。ほかに下村芝布、野々山亮、内藤瑞希らエースダンサー

個性と技を競う。マリアを演じる山本は「斬新なコンテンポラリーの振付が魅力です。名作の持ち味を損なうことなく、人間味にあふれるマリア(白鳥オデット)を踊りたい。寺井さんとの共演も楽しみます。作品にのめり込む市川は「原作の形態よりもドラマ性を重視しま

した。ダンサーにとっても、観客にとっても、面白い作品になると思っています。クラシックバレエではなく、ミュージカルを見る感覚で来てほしい」と来場を呼び掛けている。指定席9000円、自由席6500円。当日は各500円増し。TEL052(779)0756。

作曲家・ピアニスト **加藤昌則のクリスマスコンサート**
~寺田弦楽四重奏団との競演!~
PROGRAM ※演奏曲目は一部により変更する可能性があります。
パッサリ/G線上のアリア
シューマン/ピアノ五重奏曲
ベートーヴェン/交響曲全9曲いいとこ取り
実演付きレクチャー
加藤昌則/クリスマスメドレー ※ピアノ五重奏楽団初演
2022 **12.22** THU 18:30開演 [18:00開場]
チケット【全自由席】
前売 3,500円 当日 4,000円
高校生以下 2,000円(前売・当日ともに)
※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※前売りの時点でチケットが売り切れる場合、当日の販売はありませんのでご注意ください。
※状況によりお客様の安全が参加が難しいと判断した場合、直前の公演中止等の可能性があります。最新の情報は、メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエーション部のウェブサイトでご確認ください。
メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエーション部
電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)
HITOMIホール
名古屋市中区栄三丁目21番19号 メニコンANNEX 5F

10月の受賞記念ライブでは、コンクールで審査員を唸らせた「ゴカール」や「神の思ひのままに」などを披露かわいらしく歌う「リストダンス」は私にや、痛みが伝わるような「雨のプリュセル」など、高く低く響く歌声の力豊かな表現力を見せた。「エルムのステージで歌うのは10数年ぶりだけれど、時間の隔たりは感じなかった。私の歌の全てを表現できる、思いを共有できる場所と話す。これからは「人生で得た良いことも悪いことも全部が、聴く人に届く、深みのある歌をいいたい」と意気込む。(聞き手・竹本真哉)

シャンソン・フロムナード
~フランスから南米まで! 音楽世界旅行~
The Guests
パトリック・ヌジェ
青山桂子
岡山加代子
七瀬 紫
2022年 **12/18** 日 開演:午後2時00分 (午後1時30分開場)
チケットのお求め・お問い合わせ (月曜日(祝日は除く)・火曜日休場)
扶桑文化会館 TEL.0587-93-9000 〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高旗字塚塚200

癒しテーマに名曲の数々を ハープ交えたアレンジで 盛かおるサロンコンサート 25日 スタジオフィオーレ

ソプラノ・盛かおる、ピアノ・奥村真名美、ハープ・神谷知佐子によるコンサート「歌とハープが織りなすクリスマス」の世界」が12月25日(①午前11時、②午後2時30分)スタジオフィオーレで開催される。



ソプラノ 盛かおる

開。美しく登みわたる癒しのソプラノには定評がある。ヨガを取り入れた健康と発声のための「ヨガモノメソッド」を考案し、その指導にも注力している。



稲垣舞比家元

日本舞踊稲垣流「豊美会」が12月18日(午前11時)名古屋能楽堂で第71回公演を行う。昨年の記念公演で四代目家元となった稲垣舞比を中心にした歌謡舞踊、古典舞踊など40番を披露する。

◆推奨公演◆



森谷 真理



人間国宝・野村峰山

「ソプラノ・ソプラノ、リサイタル」1月9日(午後2時)宗次ホール。米國メトロポリタン歌劇場「魔笛(夜の女王)で脚光を浴び、最近ではドイツのザクセン州立歌劇場「蝶々夫人」タイトルを演じ好評を博した世界的ソプラノ。プログラムは歌曲「ソプラノの歌」スウォピエヴェ、「アリア

「フィガロの結婚」コジファン・トゥッテ」ほか。全自由席4500円、学生2700円。TEL052(265)1718。

「テネシー・ワルツ」は、パティ・ペイジが歌って1950年に大ヒットしたカントリーの代表作。多くの歌手によってスタンダードナンバーになった。ピー・ウィー・キングとレッド・ステュワートの共作で、48年にキングが歌ったのが最初。日本では、江利チエミが52年に「思い出なつか

「私が恋人とワルツを踊っていた時、旧友に出会い、彼を紹介した。旧友は彼と踊っている間に、私から彼を奪ってしまっただけ。あの夜のことは今も忘れない」(植田三郎)

シユターミッツは1985年に結成。翌年オーストリアのザルツブルク室内楽コンクールで第1位を獲得。以来、世界各国でコンサートを行い、多数のCDをリリースしてきた室内楽のスペシャリスト。その演奏ぶりは緩急、強弱の切り替えが絶妙。まるで呼吸をするような演奏である。

「情感込めた『丸ちゃん』の曲も」古屋に招き、演奏会を開催。今回が6度目になる。この日のプログラムは、ドヴォルザークの「弦楽四重奏・アメリカ(第1楽章)と、同「ピアノ五重奏」そしてシューマンの「ピアノ五重奏」。いぶし銀のシユターミッツと、孫娘のような平山の五重奏は、見た目にも微笑ましく、互いの音楽的魅力を引き立てた。

「発見は中絶めに登場」東海市芸術劇場である。歌手16人、器楽(ピアノ、電子オルガン)奏者5人が世界の歌、アリア、ピアノ協奏曲など様々な音楽で楽しませてくれた。

「再認識は電子オルガンの優れた能力。この日の奏者・前田純葉は、サン・サーンスの「ピアノ協奏曲(演奏は佐々木唯道)でオーケストラパートを担い、オペラ「イル・トロヴァトーレ」ではピアノリスト、岡本茂朗の二重奏を際立てた。中・上級者レギュラー、それぞれがそれなりに良い演奏をした。アリアに日本語字幕が付いていれば、名曲の数々を一層楽しむことができたろう。

(17)「テネシー・ワルツ」



パティ・ペイジ (アルバムジャケット)

チエミもひばりも歌ったヒット曲

よくあるパターンの失恋の歌で、女性歌手のほろろの雰囲気に合う。キティ・ウエルズら多くの女性がレパートリーにした。

シユターミッツは1985年に結成。翌年オーストリアのザルツブルク室内楽コンクールで第1位を獲得。以来、世界各国でコンサートを行い、多数のCDをリリースしてきた室内楽のスペシャリスト。その演奏ぶりは緩急、強弱の切り替えが絶妙。まるで呼吸をするような演奏である。

「発見は中絶めに登場」東海市芸術劇場である。歌手16人、器楽(ピアノ、電子オルガン)奏者5人が世界の歌、アリア、ピアノ協奏曲など様々な音楽で楽しませてくれた。

「再認識は電子オルガンの優れた能力。この日の奏者・前田純葉は、サン・サーンスの「ピアノ協奏曲(演奏は佐々木唯道)でオーケストラパートを担い、オペラ「イル・トロヴァトーレ」ではピアノリスト、岡本茂朗の二重奏を際立てた。中・上級者レギュラー、それぞれがそれなりに良い演奏をした。アリアに日本語字幕が付いていれば、名曲の数々を一層楽しむことができたろう。

音楽回想ひとり語り

舞台批評

外連味たっぷりに「紀州道成寺」



「紀州道成寺」のラストシーン

円熟味と伸びやかさを共存させ



「五郎時致」を唱う六春と六秋

今公演には若江育世の娘と孫も出演した。幾世(いくよ)も会が続くように「の思いを込めた」いくよの会である。

「長唄おやこ会」日本舞踊の公演は少ないが、長唄だけの演奏会は滅多にない。そこで軒屋六秋・六春の「長唄おやこ会」(11月12日、今池ガスホール)である。名古屋邦楽会の名手、軒屋六秋・六春母娘が毎年行っている公演で、今年28回目。同時に開催される一門の発表会「秋葉会」は58回目になる。

花柳寿江育世 日本舞踊の花柳寿江育世(すえいくよ)が、第1回「いくよの会」(10月30日・市民会館)を開いた。5年前に母・弘好の「しぶ会」を終え、満を持しての再スタートである。

「道成寺」といえば、大蛇に変身した清姫が鐘に響き、鐘に入った清姫が、大蛇に変身して再登場。ひり物が居並ぶ大舞台である。

「五郎時致」を唱う六春と六秋 六春は艶と伸びやかさを増した。踊りのない分、歌詞に集中でき、邦楽芸術の魅力が再認識された。ヴァイオリンなど洋楽器との共演は、今後の公演の幅を広げる利点があるが、それなりの編曲を施す必要がある。

「再認識は電子オルガンの優れた能力。この日の奏者・前田純葉は、サン・サーンスの「ピアノ協奏曲(演奏は佐々木唯道)でオーケストラパートを担い、オペラ「イル・トロヴァトーレ」ではピアノリスト、岡本茂朗の二重奏を際立てた。中・上級者レギュラー、それぞれがそれなりに良い演奏をした。アリアに日本語字幕が付いていれば、名曲の数々を一層楽しむことができたろう。

シヤズダンス

スタジオMジャズダンス・パフォーマンス「P.E.A.C.E.」12月24日(午後2時30分と6時30分)芸術創造センター。小田真砂世の構成、振付。ジャズ、タップ、演奏を交えて送るダンスショー。全自由席3000円(当日3500円)。TEL052(722)35005。

三代舞踊団「クリスマス定期公演」12月25日(午前11時と午後3時)アーツホール。三代真史を中心に、代表作「祭」「忍者―服部半蔵―、中京大学ビッグバンドとの共演、そして恒例の「クリスマスショー」を送る。全指定S席4000円、S席3500円、A席3000円(当日は各500円増し)。TEL052(973)41888。

舞台批評

なごや芝居の広場

ベテラン女優、いのこ福代がプロデュースする「なごや芝居の広場」その第7弾「タクシードライバー」千種区・東区編(11月5、6日・千種文化小劇場)を見た。岡崎市出身の作家・広小路尚祈の著書「いつか来る季節」名古屋タクシー物語を原作に、齋藤敏明が脚本と演出を担当した。

技と思考で追及した愛知の魅力

シネクドキズム3

国際芸術祭「あいち2022」で今井智恵「シネクドキズム3」が芸術劇場小ホールで上演された(9月30〜10月1日)。

豊橋に保存されていた9面の能面を持つ「表情」をつかみ取り、映像作家・稲田優太が映像アートを制作。その映像制作と同時進行で作曲した今井の音楽を、マリベス・ディグル(ソプラノ)、江頭摩耶(バイオリン)、畑中明香(打楽器)が奏でていく。間には「伊勢物語」の句を組曲にした作品と映像が挟み込まれていった。



「シネクドキズム3」(写真・今井隆之)©国際芸術祭「あいち」組織委員会



「ラビエ・ムルエ」(写真・今井隆之)©国際芸術祭「あいち」組織委員会

手を集める点は同じだが、音響や照明、映像が完璧に操れる空間になつたことで、彼女の知的で大きな現代音楽の個性を十分に堪能できる舞台となった。一つ一つの音声、能面の陰影が、鮮やかに目と耳に刻み込まれ、想像力を刺激した。

浮かび上がったレバノンの現代史

ラビエ・ムルエ

10月2・4日に芸術劇場で上演されたラビエ・ムルエの「表象なんかこわくない」は国際芸術祭「あいち2020」の中でも特に記憶に残る強烈な舞台だった。

ムルエは、レバノン出身でドイツを拠点に活動するアーティスト。30年にわたり中東アラブ世界の混迷と歴史の空白を題材に作品を発表している。今回は代表作を17年ぶりにアップデートして上演。パフォーマンス・アート史の文献を開く2人のパフォーマーが、そのペー지에書かれた伝説的なアーティストに成り代わって語る。しかし、自傷的ポディアートを語るはずの言葉が、いつしか1970年代に続いたレバノン内戦と絡み合う。さらに2002年

テーマと演者への確かな自信も感じられた。

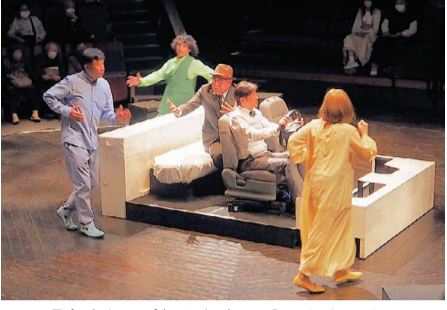
にペイルートで起こった大量殺人事件犯人の独白も混交、暴力を媒介に再現したレバノン現代史が舞台上に浮かび上がる。

間奏曲

シンガーソングライターの小椋佳が、来年1月のNHKホールを最後にコンサート活動をやめる。

小椋佳とは少なからぬ縁がある。まず彼を知ったのはデビューアルバム「青春く砂漠の少年」(71年、ポリドール)。当時は彼が何者か、公表されていなかった。一般に知ら

笑い躍動感、冴える齋藤演出



「タクシードライバー」のワンシーン

ドラマに笑い躍動感をもたらし、円形舞台中央に置かれたタクシードライバー(出演者の人力で)四方八方に方向転換させたのも、この劇場ならではのアイデア。

青柳のはなし

プロの役者はすごい! 演劇はもろろん、能・狂言、歌舞伎、日本舞踊... 様々な分野を学び、身につけた。舞台で披露する。荒川洋子が企画、制作した「語話集(ごごら)〜青柳のはなし〜」(11月2、3日・千種文化小劇場)に出演した渡会元之(前進座)のことだ。

プロの仕事見せた演奏陣&スタッフ

「青柳のはなし」のワンシーン

く、興味深く観劇できた。それは渡会の多彩な芸があった。邦楽各分野のせりふ回しに、立ち居振る舞いを使い分け、怪奇なドラマを成



「青柳のはなし」のワンシーン

「青柳のはなし」の項で、プロの俳優のすごさを書いたがここでは主役ではなく、脇役として主役を引き立てたプロのバックミュージシャンと舞台スタッフを称賛したい。それは「フチモトミュージックスクール」35周年記念コンサート(11月9日・愛知県芸術劇場大ホール)のことだ。

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6000円(税込込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載(希望者のみ)。会員

小椋佳取材の思い出あれこれ

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します。私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します。私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します。

- 和光写真/楠テス・大阪/榊三光/Hide Dance Lab./南ビデオ映社/松岡侑子バレエ団 NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト・カンパニー 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊利子/Office KAN/ミュージカルアカデミー-KAO フィルハーモニーカー・ウィーン・名古屋/明珠会 山村栄乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑠美

古澤巖
ベルリン・フィルハーモニック
ストリングス
愛のクリスマス

2022年12月17日(土)三井住友海上しらかわホール
開演13:30 前売5,500円 当日7,500円 (座席料別)

坂田知樹
ピアノリサイタル

2023年1/15(日)
開演15:00 前売5,000円 当日7,000円 (座席料別)

藤木大地
村治佳織
デュオ・リサイタル

2023年1/29(日)
開演15:00 前売5,000円 当日7,000円 (座席料別)

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

加羽沢美濃との共演で喝采浴び
メゾ 相可佐代子

4年ごとに開く相可佐代子メゾソプラノリサイタル(10月10日・電気文化会館)。4回目の今回からゲストを迎える趣向に、その最初が作曲家でピアノリストの加羽沢美濃。意外な顔合わせだが、出会いが、トークも交えて盛り上がった。

ドビュッシー、ビゼーなど得意のフランスもの、加羽沢の自作曲を中心に構成。中でもビゼーの「てんとう虫」タランテラなどは、七色の声を巧みに使い分けるテクニックで、喝采を



ピアノ・加羽沢美濃と相可佐代子



ピアノ・大島万穂と木崎美和



東海バロックプロジェクト

ソプラノ・木崎美和
リサイタル(10月14日・電気文化会館)。留学先の「イタリア・チェコをうたう」と題し、両国の歌曲とオペラアリアを並べた。ピアノは大島万穂。前半はヴォルフフルフェラーリ、プッチーニの歌曲と、「ラ・ボエーム」から「私はミニ」ほかのソプラノ。後半はドボルザークで「聖書の歌」全10曲と「ルサルカ」の「月に寄せる歌」。いずれも正統的な歌唱、無理のない発声で安定感も十分。最も印象的だったのは

ドボルザーク最後の歌曲集「聖書の歌」。ほとんどの人が初めて聴くと思われる作品。天地創造から主への賛美まで、さまざまな内容を巧みに歌い分けた。

リサイタルは初でも経験は豊富。これからの活躍が楽しみだ。

ニューイヤー・コンサート2023
New Year Concert 2023
Symphonie Orchester der Volksoper Wien
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団
ウィーンから愛を込めて

【出演】
ソプラノ: エリザベト・フレヒル Elisabeth Flechl, Soprano
テノール: メルザード・モンタゼリ Mehrzad Montazeri, Tenor
指揮&ヴァイオリン: オラ・ルドナー Ola Rudner, Conductor & Violin
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien
バレエ・アンサンブルSVOウィーン Ballett Ensemble SVO Wien

【曲目】
ヨハン・シュトラウス二世: ワルツ「春の声」作品410
Johann Strauss Jr.: Frühlingsstimmen Waltz, Op. 410
カールマン: オペレッタ「マリツァ伯爵家令嬢」より 二重唱「ハイと喜んで、私の大切な人」
Emmerich Kalman: "Mein lieber Schatz... Sag ja, mein Lieb, sag ja" from Gräfin Mariza
ヨハン・シュトラウス二世: ワルツ「美しく青きドナウ」作品314ほか
Johann Strauss Jr.: "An der schönen, blauen Donau" Waltz, Op. 314 etc.

2023.1.7(土) 13:30開演 (13:00開場) 愛知県芸術劇場コンサートホール

【料金】S席 12,000円/A席 9,000円/B席 7,000円/U25 2,000円 チケット発売中

東海テレビチケットセンター 052-951-9104 (平日10:00~18:00) アイ・チケット
クラシック名古屋 052-678-5310 アイ・チケット
チケットぴあ ローソンチケット イープラス
芸文プレイガイド 052-972-0430 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
お問合せ: 東海テレビ放送 事業部 052-954-1107 (平日10:00~18:00)

ロンパード・オーディエンス SPECIAL
竹澤恭子 Kyoko Takezawa
New Year Concert
ニューイヤー・コンサート

2023年1月9日(月)
三井住友海上しらかわホール
13:30開演 (13:00開場)
S席 5,500円 A席 4,000円 (座席料別)

Program
J.S.バッハ
ヴァイオリンとハープシコードのためのソナタ 第4番
短調 BWV1017
R.シュトラウス
ヴァイオリン・ソナタ op.18
ショパン
ノクターン 変ニ長調 op.27-2
サンサーンス
ヴァイオリン・ソナタ 第1番 op.75

ピアノ: 江口 玲 Akira Eguchi

2022年9/2(金) 一般発売開始

【主催】 乳産奨励会 【協賛】 ロンパード・オーディエンス(株) 親睦会 名古屋MARRCONクラブ (株) 親睦会 産乳しがやの会 【協力】 クラシック名古屋
【問合せ】 テレビ愛知 事業部 052-229-6030 (9:00~17:00) 芸文プレイガイド 052-678-5310 (9:00~17:00) クラシック名古屋 052-678-5310 (9:00~17:00) 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
【チケット】 テレビ愛知 事業部 052-229-6030 (9:00~17:00) 芸文プレイガイド 052-678-5310 (9:00~17:00) クラシック名古屋 052-678-5310 (9:00~17:00) 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
【問い合わせ】 テレビ愛知 事業部 052-229-6030 (9:00~17:00) 芸文プレイガイド 052-678-5310 (9:00~17:00) クラシック名古屋 052-678-5310 (9:00~17:00) 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755

年始おなじみのウィーン・リング・アンサンブル。3年ぶりの来日!!
Wiener Ring-Ensemble
New Year Concert 2023
ウィーン・リング・アンサンブル
ニューイヤー・コンサート2023

2023年1月11日(水) 19:00開演 (18:00開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール

全席指定席 S席 8,500円 A席 6,000円 B席 4,000円 C席 3,000円 U25 2,000円

【主催】 テレビ愛知 【協賛】 クラシック名古屋
【問い合わせ】 テレビ愛知事業部 052-229-6030 (9:00~17:00) 芸文プレイガイド 052-678-5310 (9:00~17:00) クラシック名古屋 052-678-5310 (9:00~17:00) 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755

ハンガリー国立フィル創立100周年記念コンサート
小林研一郎 指揮
ハンガリー国立
フィルハーモニー管弦楽団
ニューイヤー・コンサート

ベートーヴェン
劇音楽「エグモント」序曲
ブルッフ
ヴァイオリン協奏曲第1番
ドヴォルザーク
交響曲第9番「新世界より」

千住真理子 [ヴァイオリン]

2023年1月19日(木) 19:00開演 愛知県芸術劇場
コンサートホール
18:00開場

チケット発売中
S席 14,000円 / A席 12,000円 / B席 10,000円
C席 8,000円 / D席 6,000円 / U25 3,000円

【主催】 テレビ愛知 【協賛】 クラシック名古屋
【問い合わせ】 テレビ愛知事業部 052-229-6030 (9:00~17:00) 芸文プレイガイド 052-678-5310 (9:00~17:00) クラシック名古屋 052-678-5310 (9:00~17:00) 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
金山総合駅
南口より徒歩3分
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00~16:00 ※土日祝休)
アイ・チケット web 検索
※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
スマホチケット(電子チケット)導入。(利用できない公演もあります)
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット
販売から、ホール、座席のことまでオペレー
ターが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、
便利なクラシック専門のプレイガイドです。